

コスモスの架け橋

～コスモスしえんだより～

和歌山県立紀伊コスモス支援学校

支援教育部 令和6年度



算数・数学科の「かずをかぞえよう」教材紹介

特別支援学校の学習指導要領では、数量的な感覚を豊かにするために、生活の中で数量に関わる具体的・体験的な活動などに重点を置いて指導に当たる重要性があることが言われています。

授業の中で教師と一緒に、具体物を操作し数えること等が、児童・生徒の数量理解の基礎へとつながっていきます。

「かずをかぞえよう」の単元で取り組んだお弁当の教材を紹介します。

単元のねらい

- ・具体物の「ある」「ない」が分かり、指さしたり、つかもうとしたりする。
- ・具体物を集めたり並べたりしながら、具体物の数を 1 個、2 個、たくさんで表したりする。
- ・数のまとまりや数え方に気づく。
- ・数量に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとする。



数え方(数える練習)の教材

パワーポイントの教材と手元教材で、教師と一緒に指を差して数える練習をしました。数える物は「おにぎり」を使用しました。

数字と一緒に指でなぞる練習も行いました。



みんなで数えるお弁当の教材

具体物を操作して、数えマスに並べて、教師と一緒に一つずつ指を差して数え、みんなで確認しました。
1~3個教材を準備し、3(たぐさん)も取り入れました。



数えマス(1対1対応)

手元で操作し、見やすい場所で見られるように教材が落ちないよう枠を設置しました。



個々で数えるお弁当の教材

様々な具材を1~2個組み合わせたお弁当を、児童・生徒に渡し、「〇〇はある?」と聞き、中身を確認して、「ある」「ない」に気付くようにしました。

「ある」ときは数えマスに並べるなどして、実際触って操作しながら、教師と一緒に数えました。

「〇個あった」「ない」など、教師と一緒に発表し、みんなと共有しました。

数え終わった後は、お弁当の中身が空っぽ、何もなくなった状態を手で触って、確認しました。



活用のポイント

- ・各児童・生徒が、手元で操作できるよう、人数分の教材を用意しました。
- ・数えマス等を活用して、見やすい位置に提示できるようにしました。(教材が落ちにくいよう、枠を設置)
- ・見えにくさを補うため、触るなどして視覚以外の感覚も活用しました。
- ・各児童・生徒によっては見やすくするために、黒板を活用しました。(コントラストで見やすくする)
- ・毎回同じ流れて、お弁当の具材に変化をつけながら実施しました。